

問3 次のうち、令和4年「人口動態統計」（厚生労働省）に関する記述として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 死因別にみると、心疾患は、死因順位の第1位となった。
- 2 死亡率は人口千対9.0で、前年より低下した。
- 3 出生率は、人口千対6.3で、前年より低下した。
- 4 新生児死亡率は、出生千対0.8であった。
- 5 死産率は3.3で、前年の3.4より低下した。

問17 次のうち、「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」（厚生労働省）に関する記述として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 感染症成立のための三大要因とは、「感染源」、「感染経路」及び「潜伏期間」をいう。
- 2 飛沫感染する感染症が保育所内で流行することを防ぐことは容易ではないが、その流行を最小限に食い止めるためには、日常的に全員が「咳エチケット」を実施することが大切である。
- 3 手洗い用の石けんとして、液体石けんは、水分含有量の少ない固形石けん比較して、保管時に不潔になりやすい。
- 4 標準予防策とは、ヒトの血液、喀痰、尿、糞便等には感染性がないという前提で対応する方法である。
- 5 保育中に感染症の疑いのある子どもに気付いたときには、医務室等の別室に移動させ、体温測定等により子どもの症状等を的確に把握し、体調の変化等について記録を行う。

問21 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

4歳、男児。ある日、発熱（38.0℃）し、小さな紅色の発疹ができた。発疹は頭皮や顔面も拡がり、順次、水疱、膿疱へと変化し、2～3日で痂皮となっていた。1週間にわたって次々と新しい発疹ができ、紅色の発疹、水疱、膿疱、痂皮など、いろいろな段階の発疹が混在しており、強いかゆみがみられた。

**【設問】**

この患児の診断名を1つ選びなさい。

- 1 伝染性軟属腫
- 2 ヘルパンギーナ
- 3 水痘
- 4 突発性発疹
- 5 流行性耳下腺炎

問34 次のうち、学校で予防すべき感染症の出席停止の期間の基準に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを1つ選びなさい。

- A インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）の出席停止の期間の基準は、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」である。
- B 麻しんの出席停止の期間の基準は、「解熱した後3日を経過するまで」である。
- C 流行性耳下腺炎の出席停止の期間の基準は、「耳下腺の腫脹が消失するまで」である。
- D 髄膜炎菌性髄膜炎の出席停止の期間の基準は、「病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで」である。
- E 新型コロナウイルス感染症の出席停止の期間の基準は、「発症した後7日を経過し、かつ、症状が軽快した後2日を経過するまで」である。

（組み合わせ）

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	○
2	○	○	×	○	×
3	○	×	○	×	×
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	○	○

<解答用紙>

問	解答番号
1	① ② ③ ④ ⑤
2	① ② ③ ④ ⑤
3	① ② ③ ④ ⑤
4	① ② ③ ④ ⑤
5	① ② ③ ④ ⑤
6	① ② ③ ④ ⑤
7	① ② ③ ④ ⑤
8	① ② ③ ④ ⑤
9	① ② ③ ④ ⑤
10	① ② ③ ④ ⑤
11	① ② ③ ④ ⑤
12	① ② ③ ④ ⑤
13	① ② ③ ④ ⑤
14	① ② ③ ④ ⑤
15	① ② ③ ④ ⑤
16	① ② ③ ④ ⑤
17	① ② ③ ④ ⑤
18	① ② ③ ④ ⑤
19	① ② ③ ④ ⑤
20	① ② ③ ④ ⑤

問	解答番号
21	① ② ③ ④ ⑤
22	① ② ③ ④ ⑤
23	① ② ③ ④ ⑤
24	① ② ③ ④ ⑤
25	① ② ③ ④ ⑤
26	① ② ③ ④ ⑤
27	① ② ③ ④ ⑤
28	① ② ③ ④ ⑤
29	① ② ③ ④ ⑤
30	① ② ③ ④ ⑤
31	① ② ③ ④ ⑤
32	① ② ③ ④ ⑤
33	① ② ③ ④ ⑤
34	① ② ③ ④ ⑤
35	① ② ③ ④ ⑤
36	① ② ③ ④ ⑤
37	① ② ③ ④ ⑤
38	① ② ③ ④ ⑤
39	① ② ③ ④ ⑤
40	① ② ③ ④ ⑤

問	解答番号
41	① ② ③ ④ ⑤
42	① ② ③ ④ ⑤
43	① ② ③ ④ ⑤
44	① ② ③ ④ ⑤
45	① ② ③ ④ ⑤
46	① ② ③ ④ ⑤
47	① ② ③ ④ ⑤
48	① ② ③ ④ ⑤
49	① ② ③ ④ ⑤
50	① ② ③ ④ ⑤